

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	設計計画 3
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	授業配布資料				
担当教員情報					
担当教員	渋沢浩夫、高田博章、吉野百合江、安田智紀			実務経験の有無・職種	有・建築設計
学習目的					
建築設計には正解はなく、考え方によって目標と成果に非常に幅があるものである。自らが設定した問題をどのように解決していくかが設計課題を解いていくことの本質である。設計計画は、建築を志す者のみではなく、人生につながる考え方である。これからの建築が今後どのように変わっていくか、どうあるべきかを構想し、それを建築として、提案することを学習目的とする。高学年の設計課題では、実務との関連も踏まえ、行政や法規との関連も視野に入れ、調査や研究ができるようになることを学習目的とする。					
到達目標					
この設計演習では都市的な視点を持ち、中心市街地の活性化を課題として、敷地調査から課題発見・問題解決を各自が設定し取り組む。まずは敷地調査からはじめ、都市計画的視点から行政が発表している計画等を参照する。さらに地域性（敷地や場所が有する固有の特徴等）、公共性（公開性、利用、福祉等）をいかに設計に組み込むかという事も主要なテーマとなる。施設がどうあるべきか自分の考えを持つこと、その上で核となる施設の設計を行う。設計に関するこれまでの知識、技術の集大成として小規模な建築物を計画、構造、法規、施工のそれぞれの側面から成立するように設計する技術を習得することを到達目標とする。					
教育方法等					
授業概要	敷地選定は慣れ親しんだ八王子市内の指定エリア（JR八王子駅北口付近）とする。その地域の特性について担当教官とディスカッションを行い、計画案を明確にする。土地に合わせた計画案を各自で作成しエスキースチェックを担当教官に受けること。エスキース案がまとまったところで中間発表を行う。講評などを反映し計画案をまとめる。その後作図を行い提出後発表会を行う。				
注意点	授業には集中して取り組み、担当教官とのエスキースを通して各回進捗状況を把握すること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者には成績をつけることができない。授業中の私語は厳に慎み、授業に関係ないものはカバン等の中にしまうこと。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	成果物	70%	各課題の提出物を総合的に評価する。		
	平常点	30%	各回授業の授業態度を総合的に評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		第一課題：「THE EDGE OF ARCHITECTURE」を理解する。		
2回	敷地調査、エスキース1		敷地調査を行い、問題発見・課題解決の手法を理解する。		
3回	第一課題講評会		自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。		
4回	第二課題発表		第二課題：「商業空間をエッジで組み立てる」を理解する。		
5回	エスキース2		ロジックを意識した計画をすることができる。		
6回	エスキース3		設計意図を模型で表現することができる。		
7回	エスキース4		設計意図を図面・プレゼンボードに表現することができる。		
8回	第二課題講評会		自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。		
9回	第三課題発表		第3課題：「子供と地域への社会貢献」を理解する。		
10回	エスキース7		総合的な課題として、多様な視点で設計を行うことができる。		
11回	エスキース8		地域施設が地域共生に果たす役割を理解している。		
12回	エスキース9		利用者の立場（主にこども）に立って計画することができる。		
13回	エスキース10		設計意図がより伝わるようなプレゼンテーションを行うことができる。		
14回	提出・ポートフォリオ		期限内に提出することができ、ポートフォリオを提出することができる。		
15回	発表・講評会		自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。		